



役目を終えたエンジンオイルの行方

やろう、やろうと思いつながら、なかなかスタンドへ寄る機会がなくて、今回のオイル交換は自分でやってみようかなと思ったのですが、「そう言えば、オイル交換した廃油の処理はどうするんだっけ?」と、ふと考えました。使い終わったエンジンオイルは、自治体によってはゴミとして廃棄が可能です。



逆を返せば、エンジンオイルの収集を行っていない自治体もあるということになりますが、その場合は回収業者をお願いするしかありません。この業界の皆さんは、廃油の行方なんでももちろんご存知だと思いますが、今回自分でオイル交換をしようと思って改めて感じたことがあるのです。

回収業者などからエンジンオイル系の廃油が集まってくる再生処理工場では、油水分離、遠心分離などの工程で、水分やスラッジを除去し、品質規格に準拠して調整して再生重油・潤滑油・補助燃料などの複数の廃油再生品として生まれ変わります。それらは工場をはじめとする多くの場所でリユース(再活用)されます。自分のもので役目を終えたオイルは、今度は再生オイルになって誰かの役に立っていると思うと、愛しさがこみあげてきませんか? 環境意識の高まりもありますが、こんな働きすぎないオイルのためにも、これからは廃油を減らし、環境負荷を低減する努力も必要なのかなって思うのです。

自動車業界の企業が取り組むSDGsとは

私たちは、事業活動に必要な資源・エネルギーを含め、この地球からさまざまな恩恵を受けています。地球環境の保全は企業としての当然の役割であり、SDGsに取り組むことは重要な社会的責務のひとつであると思います。



そんな中、自動車業界に押し寄せている「CASE」という新たな潮流は、SDGsが目指す理念と一致しており、自動車業界のSDGsへの取り組みは高く評価されています。実際、ブランド総合研究所による「企業版SDGs調査」で最も高く評価された企業は、2年連続で「トヨタ自動車」でした。

自動車・バイク・タイヤ業界に期待されるSDGsの指針として、目標7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」、目標12「つくる責任 つかう責任」などが採用されることが多いようです。



自動車・バイク・タイヤ業界に期待されるSDGs

私たちは、カーボンニュートラルや技術革新の課題解決に取り組むという自動車業界全体の姿勢を評価しながら、環境・資源との共生を目的とした企業活動を継続的にやっていく必要があります。

with LIFE

特集

EV化がもたらす業界への影響

将来のために必要な「今」できることは?

▼ This season's pickup!

レジャーの後は要注意!
クルマを癒すメンテナンスとは?!



車検作業のパートナー工場 募集中!

弊社の車検コールセンターシステムで安心! 集客支援もおまかせください。



- 業務の委託に際しまして条件等がございます。
- 左記のQRコード、または下記のURLからお問い合わせください。

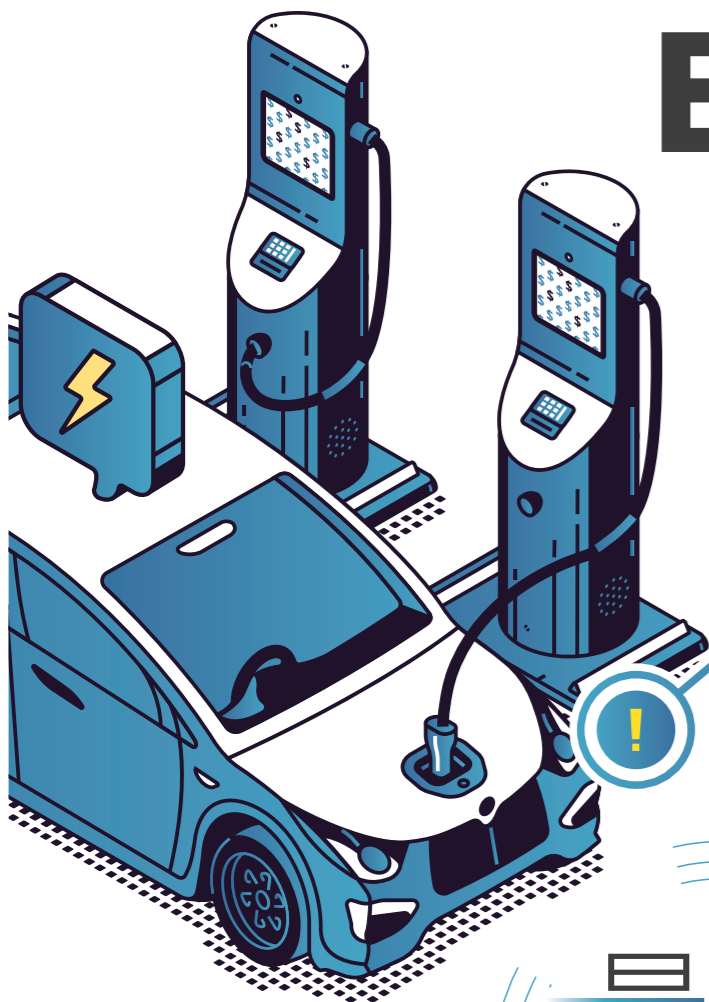
<https://forms.gle/jLXuXRSTxqjtc1DL6>



JAPAN OIL SERVICE 日本オイルサービス株式会社

KYOKUTO 株式会社キョクトー

「成長」と「繁栄」を、共に歩む。



EV化がもたらす業界への影響。

自動車産業は日本経済を支える重要な基幹産業としての地位を占めていますが、EVシフトにより業界だけでなく、社会の各方面に様々な影響を及ぼす事が危惧されています。アフター市場関連では、EV化に伴う車の部品点数や整備需要の減少などでの収益低下が予測されています。

EV化でエンジン、トランスミッション、マフラー、ラジエターなどをはじめ、**ガソリン車の部品の3割以上が不要**になると言われています。

EV化が脚光を浴びる反面、一方で10年後もEV化は総需要の3割程度で、内燃機関や排気系部品の需要はまだ健在という声もあります。いずれにしてもアフター市場では新たな顧客や製品の開発、さらには新たな事業の創出などが肝要です。ピンチと捉えるかチャンスと捉えるかは企業の考え方ひとつです。

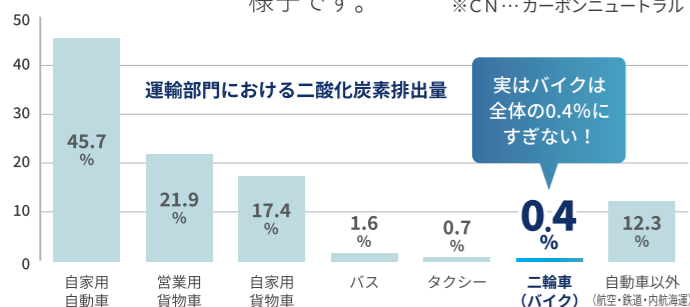
最新情報

業界

バイクのカーボンニュートラルへの取り組み状況

CNの手段としてEV化が声高に叫ばれている現状ですが、昨年11月、二輪・四輪5社が内燃機関を使用しながらCNを実現する取り組みを宣言。水素エンジンやバイオ燃料の可能性などを模索しています。とは言え、二輪4メーカーは交換式バッテリーの共同企業体への動きも検討中。電動への道をひた走るのか、内燃機関継続に望みをもたらすのか、バイクのCNへの動きはまだこれから様子です。

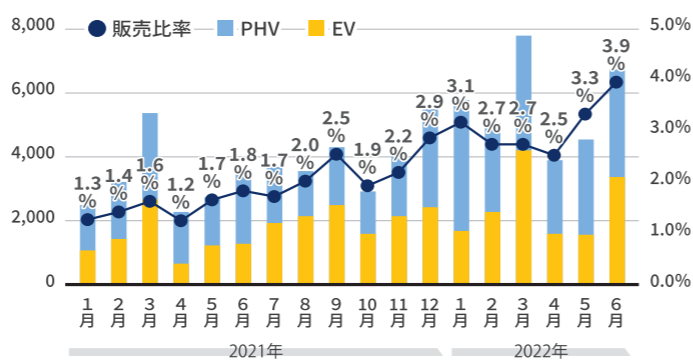
※CN…カーボンニュートラル



出典:2019年CO2排出量 国土交通省公式サイト(2022年7月時点) https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_ik_000007.html

EV普及に向けて顕在化する課題

▼日本のEV・PHV新車販売台数の推移



※参照:ENECHARGE EV CHARGE「日本のEV・PHV新車販売台数の推移」<https://ev-charge.enechange.jp/articles/033.html> (2022年8月5日現在)

EVは確実に販売台数を伸ばしていますが、その普及は実際のところ未だ過渡期であることは否めません。購入を検討したとしても価格はまだまだ高く、さらに充電インフラ整備やエネルギー政策なども関わります。当面の間はEVとガソリン車が共存すると思いますが、EVの比率が高まっていくことは間違いないので、今がEV普及後のアフター市場を見据えた対策を考える大事な時期かもしれません。

This season's pickup!

レジャーの後は要注意！ クルマを癒すメンテナンスとは?!

避けられるトラブルからクルマと安全を守る。

✓クルマが喜ぶメンテナンス10項目



クルマだって、癒しが欲しい。

ご承知の通り、クルマを最適な状態で維持するためにメンテナンスは欠かせません。レジャーの後やシビアコンディション走行後など、クルマには様々な負担がかかっています。愛車を長持ちさせるためにも丁寧なメンテナンスを行い、クルマの疲れを取り除いて癒してあげましょう。

癒しのあとの、もうひと手間。

クルマの内部のケアが終わったあとに全体を見て、「まだ疲れが残っている?」と感じたら、それはヘッドライトの「くすみ」が原因かも。クルマの見栄え、状態が悪く見えてしまう他にライトの光量が減少し、夜間走行の安全性の低下や、車検が通らなくなる事もあります。

適切なヘッドライトクリーニングを施して見た目も美しくするだけでなく、クリアなライトでの安全運転心がけましょう。



クリーニング前 ▶▶▶ クリーニング後



弊社がおすすめするCROSSのヘッドライトクリーニング&コートの指触乾燥性は他社と比べて抜群に速く、わずか**10分!**(外気温25度時、完全乾燥は24時間)施工後のお客様の車両出庫がスムーズに。

▶ ATTENTION!

指触乾燥が速い!

ヘッドライトクリーニング&コーティング



美しいライトの輝きと、確かな視認性を取り戻す。

ヘッドライトクリーニングで「黄ばみ」「くすみ」「小傷」を除去したあとに、ガラス系皮膜でコーティングをし、ヘッドライトの透明度を回復。プロの施工が、あなたの安全な夜間走行をサポート。

▶ CHECK!

長距離運転、注意警報

レジャーの長距離運転は慎重に！
運転時に気を付けたいポイントをご紹介します。

- 雨天走行時のスリップに要注意。
- ライト点灯はお早めに。
- 渋滞中の追突事故に注意。
- 夕暮れ時の運転は、意識して速度を落とす。